

DATA 01

環境目標と実績

○…達成 △…一部未達成 ×…未達成

	2016年度目標	実績	コメント	2017年度目標
省エネルギー	エネルギー消費原単位 2013年度比 3%低減	○	生産性の向上、LED照明化、高効率のエアコンの更新など、さまざまな活動を積み重ね、目標を達成しました。	エネルギー消費原単位 2013年度比 4%低減
廃棄物の発生抑制	金属作業屑の歩留り率 2008年度比4.5~5.2ポイント向上 2012年度比0.66ポイント向上 2013年度比1.5ポイント向上 2014年度比0.15ポイント向上 (部門毎に目標値を設定)	○	生産性向上活動とあわせて各部門で施策を掲げて取組み、目標を達成しました。	金属作業屑の歩留り率 部門毎、工程毎に目標値を設定
	プラスチック材料作業屑の歩留り率 2008年度比3.5~7.25ポイント低減 (部門毎に目標値を設定)	○	生産性向上活動とあわせて各部門で施策を掲げて取組み、目標を達成しました。	プラスチック材料作業屑の歩留り率 部門毎に目標値を設定
	廃製品の発生抑制 部門別、発生工程別、 発生原因別に目標値を設定	△	各部門で目標値及び目標を達成するための施策を掲げて改善を進めてきましたが、一部の部門で設備導入や材料変更による不具合発生などで目標未達成となりました。	廃製品の発生抑制 部門別、発生工程別、 発生原因別に目標値を設定
輸送時の負荷低減	積載率の向上 2012年度比1.0%向上	○	製品輸送トラックの積載率目標値を掲げて取組み、目標を達成することができました。	積載率の向上 2012年度比1.5%向上
	輸送量算出の精度を上げるよう 把握方法の確立と運用開始	○	輸送量算出の把握方法の新しい手順を確立し運用を開始することで、算出の精度が向上しました。	新しい手順での 輸送量算出の継続実施
フロン	発泡用:低GWP*1発泡化に 向けての研究 冷媒用:低GWP*1冷媒化に 向けての研究	△	発泡用:遅れが生じました。 冷媒用:実施完了しました。	発泡用:一部製品で低GWPの 発泡剤へ切替え実施 冷媒用:低GWP冷媒化に 向けての研究
製品開発	トップランナー対応に向けた 冷蔵庫などの更なる省エネ化	○	冷凍機の運転制御や本体構造の見直しを図り、冷蔵庫などの更なる省エネ化を達成しました。	トップランナー対応製品の モデルチェンジなどを 目標に設定
自然環境の保護	ホシザキグリーン財団の行う 保護活動への協力と参加	○	ホシザキグリーン財団の行う保護活動へ参加協力しました。	ホシザキグリーン財団の行う 保護活動への協力と参加

DATA 02

マテリアルフロー



*1 低GWP化:地球温暖化係数(GWP)の低いものを採用すること。地球温暖化係数は、CO₂を基準に、温室効果ガスがどのくらい温暖化する能力があるかを表した数字。